（第1号様式）

『専修学校月額奨学金』、『専修学校入学一時金』貸与申込書

申込日　令和8年　月　日

公益財団法人秋田県育英会 理事長　様

下記のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学金の貸与に、関係書類を添え連帯保証人と連署をして申し込みいたします。

フリガナ	※男・女	生年月日
本人氏名 （必ず自署）		平成　年　月　日

◇希望する奨学金◇（月額奨学金は入学後の4月から、入学一時金は入学前の1月～3月に貸与）

※希望する奨学金に○（併願可）			
		月額5万円	専修学校月額奨学金
		30万円	専修学校入学一時金

現住所（住民票を移していない場合も実際に住んでいる場所の住所を記入）〒　－	電話番号　－　－

フリガナ	※男・女	生年月日
連帯保証人 （自署。本人未成年者の場合 親権者）（続柄：本人の　）		平成 昭和　年　月　日

住所　〒　－ 単身赴任等の場合は、書類等の送付を希望する住所をお書きください	電話番号　－　－

書類等に関する日中の連絡先（必ず記入してください）※ 携帯 ・ 職場 ・ その他（　）
－　－　※ 父 ・ 母 ・ その他（　）（書類に関して分かる方）

進学予定（志望）校	（正式名称を記入してください）		
コース等	（「○○科 △△コース」等、詳しく記入してください）		
国立私立の別（いずれかに○）	※ 国公立 ・ 私立	修業年数	（　）年制
		在学期間	令和9年4月から令和（　）年3月まで 在学予定

出身校	高等学校【卒業（見込） 令和　年　月】		
	小学校卒業	中学校卒業	高卒認定の方は○をしてください 高卒認定

家庭状況	【生活状況その他特別な事情等がある場合に記入してください（任意）】	**※必ずご確認ください。** **入学一時金は貸与前に、月額奨学金は学校卒業前に分割返還の書類を作成していただきます。**その際、上記に記入した連帯保証人とは別に「保証人」を立てていただきます。 ※詳細は募集要項2ページをお読みください。 □保証人を立てることについて確認しました。 確認後、☑をつけてください。

本人と連帯保証人は各自自署してください。
鉛筆、消せるペン、修正液等は使用しないでください。

※の箇所は該当するものを○で囲むこと。

申込日を募集期間内で記入してください。

『専修学校月額奨学金』、『専修学校入学一時金』貸与申込書

No

家　族　調　書

太枠内のみ記入してください。

同一生計の家族

	続柄	氏　名	年齢	職　業（会社名及び自営の方はその旨）	収入金額 万円	所得金額 万円
	本人					
就学者を除く家族	父					
	母					
		欄が足りない場合は、一行に2名記入する等、全員分をご記入ください。		父母の所得金額合計		

就学者（本人除く）	続柄	氏　名	※ 設置者	※ 通学別	※ 就 学 者 控 除	控 除 額　万円
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学	
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学	
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学	
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修（高等・専門）・大学	

※の箇所は該当するものを〇で囲むこと。

所得から差し引かれる項目

障害のある人がいる世帯 ※はい　の場合は障害者手帳の写しを添付	**※必ずどちらかに〇**　※（ はい ・ いいえ ）	
両親のいずれかが単身赴任している世帯 ※はい　の場合は家賃が分かる書類等を添付	**※必ずどちらかに〇**　※（ はい ・ いいえ ）	
長期療養中で医療費控除を申告している人がいる世帯 ※はい　の場合は確定申告書控え（医療費控除の明細書）の写しを添付	**※必ずどちらかに〇**　※（ はい ・ いいえ ）	
火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯 ※はい の場合はり災証明書等と令和7年中の被害額の分かる書類の写しを添付	**※必ずどちらかに〇**　※（ はい ・ いいえ ）	
母子・父子世帯　→　当てはまる場合は「父」または「母」の欄を空欄としてください		
本人の就学者控除		147
控除額の合計		

以下の欄には記入しないでください。

所得金額	万円	就学者等 特別控除額	万円	認定所得額	万円
世帯人員	人	成　績			